

水稻の生育状況と今後の管理対策（第2号）

令和8年6月11日
新潟県農林水産部

- ◎ コシヒカリは平年より生育が進み、多くのほ場で中干し*時期となっています。
- ◎ 中干しをしていないほ場は、直ちに茎数を確認し、めやすに達したら速やかに中干しを始めてください。
- ◎ 中干しと併せ、溝切りを必ず実施してください。

* 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔6月10日現在の県内全域の生育概況〕

【指標値（生育のめやす）に比べた生育状況】

- コシヒカリ：草丈「長い」、茎数「多い」、葉数の進み「早い」、葉色「やや濃い」
- 新之助：草丈「並」、茎数「並」、葉数の進み「並」、葉色「並」

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 6月4日発表の北陸地方1か月予報（6月6日から7月5日）は、平均気温は高く、降水量と日照時間はほぼ平年並みと予想されています。
- 今後も気温が高く、曇りや雨の日が多い見込みであることから、茎数の急増と草丈の伸びが予想されます。

〔今後の管理対策のポイント〕

適期中干しの実施

- コシヒカリは、高温のため平年より生育が早まっています。中干しをしていないほ場では、直ちに茎数を確認し、めやすに達したら速やかに中干しを始めましょう。
- 中干し開始のめやすは、コシヒカリは、茎数が目標穂数の7～8割（生育が過剰となりやすいほ場では6～7割）となった時期、新之助は、7～8割となった時期が適期です。
- 中干しは、根を傷めないよう、小ヒビが入り足跡が残る程度としましょう。
- 中干しの効果を高め、異常高温・乾燥時に速やかなかん水が行えるよう、溝切りを必ず実施しましょう。

病害虫防除

- 補植苗はいもち病の伝染源となるため、直ちに除去してください。
- 新之助で箱施用剤を使用していない場合は、必ず葉いもち防除を行ってください。
- 斑点米カメムシ類の密度を抑制するため、イネ科雑草が結実しない間隔で畦畔・農道等の草刈りを行いましょう。また、斑点米カメムシ類の増殖源とならないよう、ほ場内にヒエ、ホタルイ等がみられる場合は除草を行いましょう。

中干し程度のめやす



○適度な中干し

小ヒビが入り、軽く足跡がつく程度



×乾かしすぎ

大ヒビが入ると、根が切断されたり、発根が抑制される

熱中症予防

- 気温が高く、特に湿度が高い場合は熱中症発生のリスクが高まります。
- 農作業中は、定期的に水分・塩分を補給し、帽子等で直射日光をさえぎるほか、暑さ対策用品を活用して身体を冷やすなどの熱中症予防対策を必ず行いましょう。
- 気温の高い時間帯に作業しない、単独で作業しない、休憩はこまめにとるなど、十分配慮してください。

○ 今後の管理対策発信予定日 6月19日、7月1日・9日・22日・28日・31日、8月20日

〔補足資料〕

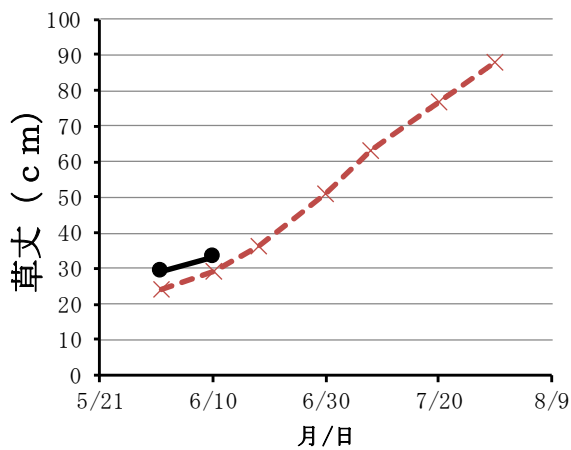
1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（6月10日現在）

コシヒカリ

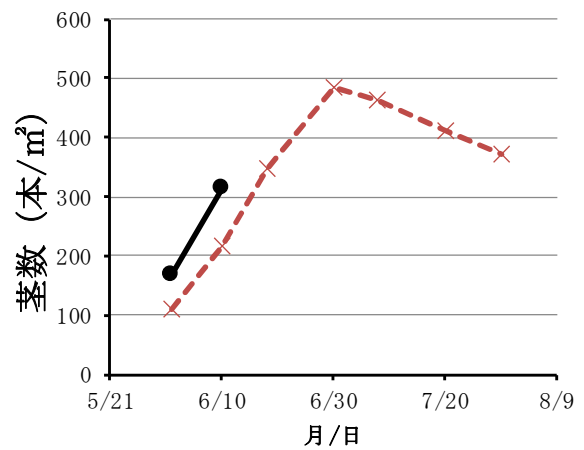
指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「長い」、茎数は「多い」、葉数の進みは「早い」及び葉色は「やや濃い」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	33 cm	29 cm	長い	114%
茎数	314 本/㎡	216 本/㎡	多い	145%
葉数	7.9 葉	6.8 葉	早い	+1.1 葉
葉色 (SPAD 値)	38.2	36.3	やや濃い	+1.9

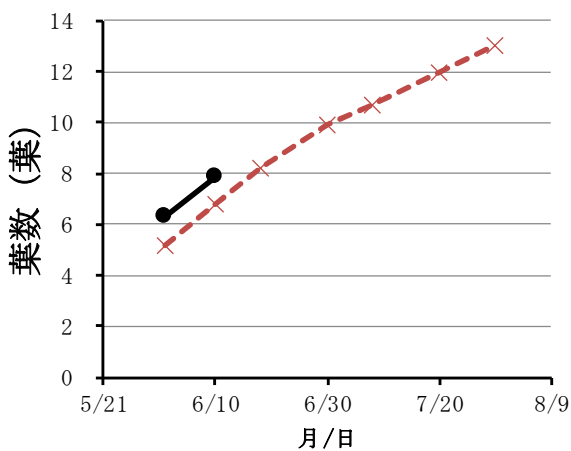
注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値（田植え5月11日、栽植密度16.9株/㎡）。



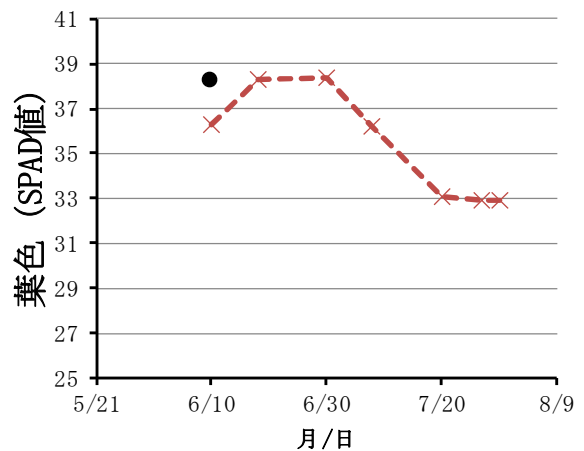
草丈の推移
(県全体)



茎数の推移
(県全体)



葉数の推移
(県全体)



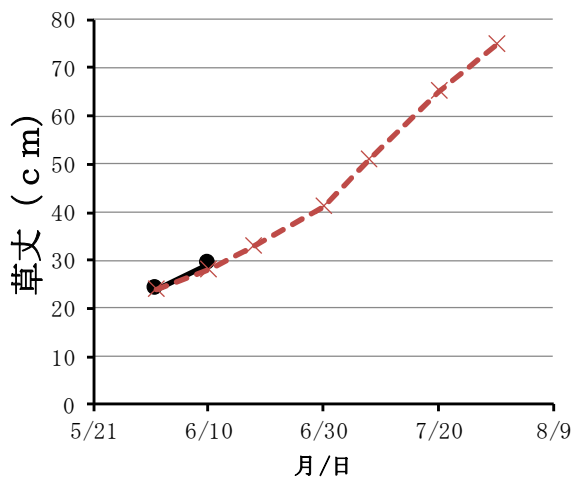
葉色の推移
(県全体)

新 之 助

指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」及び葉色は「並」です。

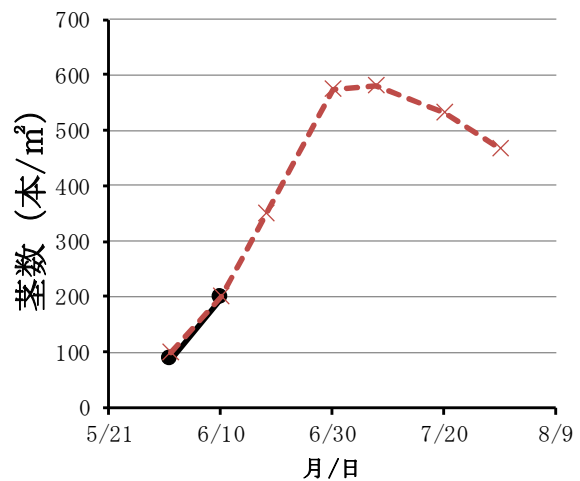
項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	29 cm	28 cm	並	104%
茎数	196 本/m ²	200 本/m ²	並	98%
葉数	6.7 葉	6.7 葉	並	±0.0 葉
葉色 (SPAD 値)	36.0	35.9	並	+0.1

注) 県内全域の14生育調査ほデータの平均値 (田植え5月19日、栽植密度16.1株/m²)。



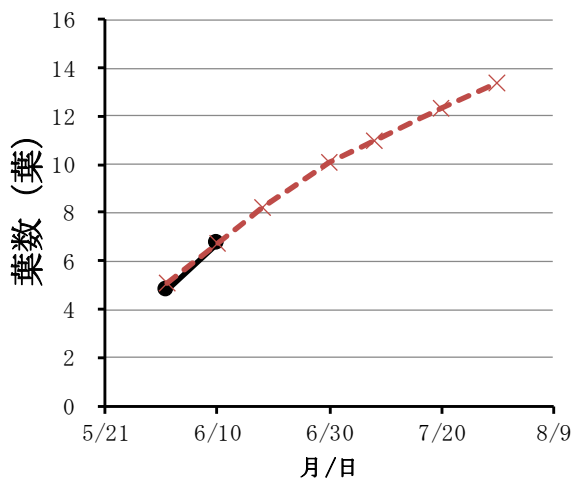
● 本年値 -x- 指標値

草丈の推移
(県全体)



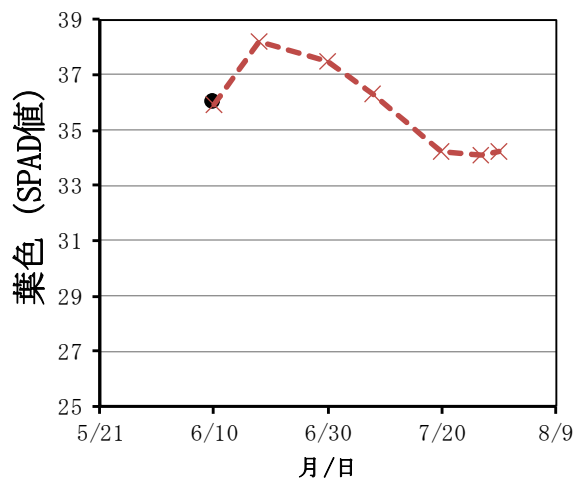
● 本年値 -x- 指標値

茎数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値

葉数の推移
(県全体)



● 本年値 -x- 指標値

葉色の推移
(県全体)

こしいぶき (参考)

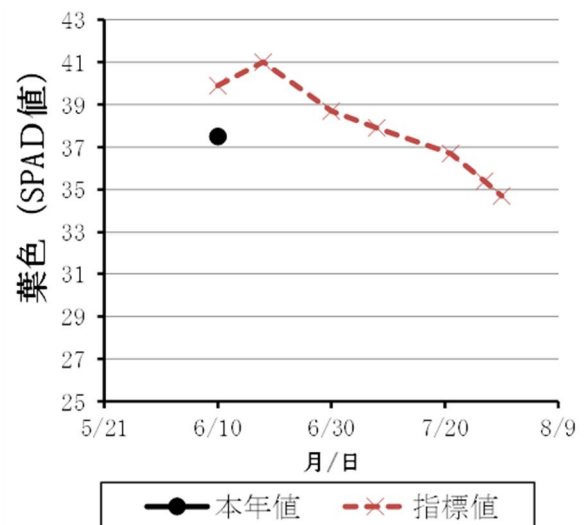
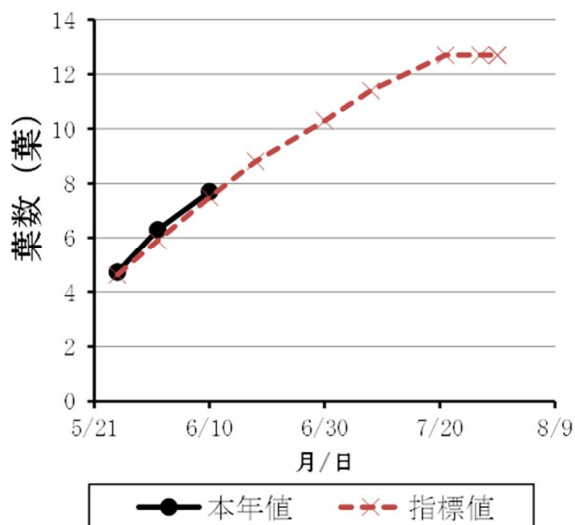
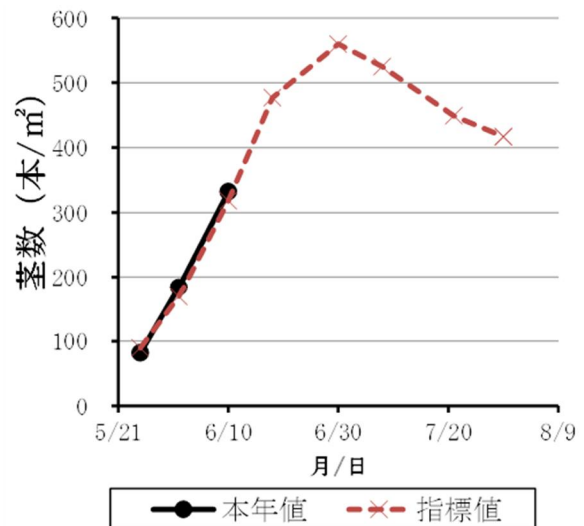
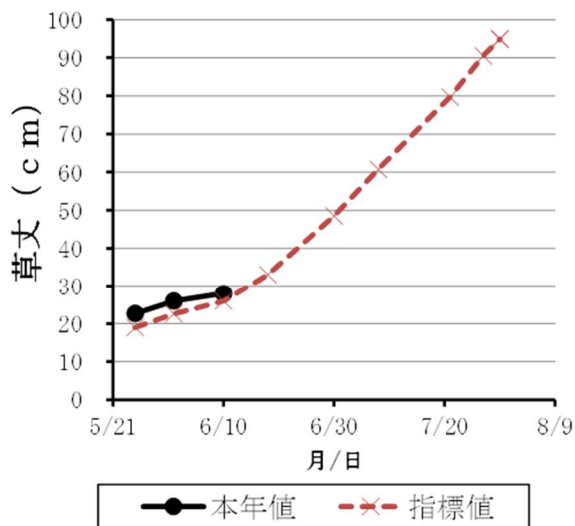
指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「並」及び葉色は「淡い」です。

項目	本年値	指標値	指標値との比較	指標値比・差
草丈	28 cm	26 cm	やや長い	108%
茎数	332 本/m²	318 本/m ²	並	104%
葉数	7.7 葉	7.5 葉	並	+0.2 葉
葉色 (SPAD 値)	37.5	39.9	淡い	-2.4

注1) 化学肥料栽培。田植え5月11日、栽植密度20.5株/m²

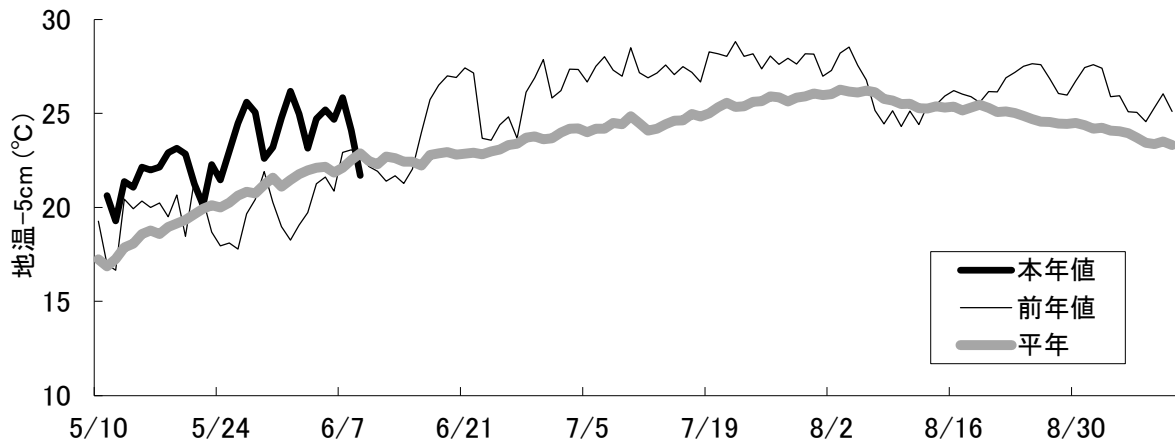
注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町(作物研究センター)の生育調査ほデータ

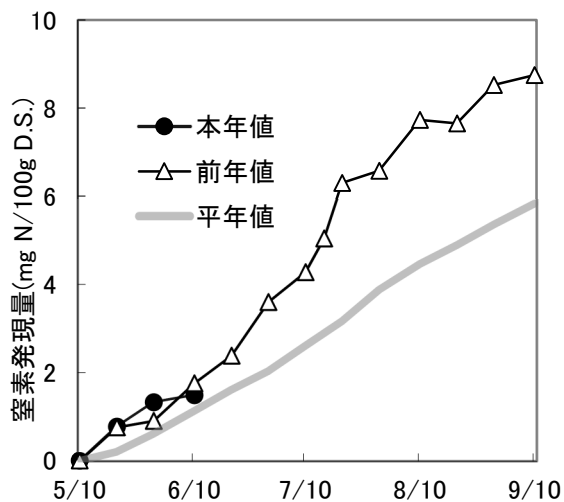


2 地力窒素の発現状況

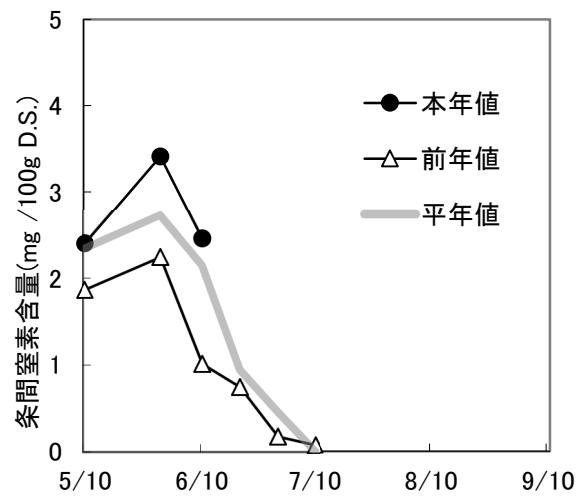
5/29～6/9の期間の日平均地温は平年差+2.4℃で平年より高めに推移しました。この期間の地力窒素発現量は平年よりやや多いです。条間窒素含量は期間を通して平年よりもやや多く推移しています。



水田地温 (5 cm 深) の推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)



地力窒素発現量の推移(6月9日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
初期値=0、田植日：5月11日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(6月9日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
田植日：5月11日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a